

そして更に神の愛についてもう書かれています、「しかし唯一神は私たちに自分の愛を証す、すなわち、私たちがまだ罪人であつたとき、キリストは私たちのために死んでくださったこと。」「この通り、唯一神は私たちが、最高の愛を持って愛する人々をはみか、神の命令を破つたため、皆はその罪にふさわしい罰を受けなければなりません。神のことばには、「罪を犯している者はみな、不法を行つてゐるのです。罪とは立法に逆らふことなのです。」とあります。人々の心の中には、これは良い、あれは悪いと効いころから自然にわかります。人は悪いことをしたら、自然にうしろめたい気持ちになつて、よく作られました。更に、聖書の中にも、立法があり、善と惡を分けてあります。ですから、唯一神は私たちに、



「神は愛です」 ～聖書の言葉

バレンタインデーは愛のことを世界中でお祝いする日です。「愛」と言えば、最初に思い浮かぶことは多分ラブラブなカップルとかハート等でしょうけども、それは本当に愛の基本特性ですか？いつまでも変わらない、深い愛とは、どんなことを思い浮かべますか？それはただの熱い恋でしょうか？ いいえ、本当に深い愛とはただ心地よい感情ではありません。この世を作られた神は、人、人が経験する愛、悲しみ、喜び等をよく知っておられます。このお方は「愛」についてどんなことを思っているのでしょうか？それは私たちが知ることができるのでしょうか？ はい。実は、世を創造した唯一神は、私たちにそれについて書かれたお手紙を送ってくださりました。それは、「聖書」または「神のことば」とよく呼ばれる、神が遣わした人々を通して書かれた本です。聖書には、何よりも大きな愛は何か、また神は人間に対してどんな感情を持っているのかを知ることができます。「人は自分の友人たちのために自分の命を投げ出すこと、誰もこれより大いなる愛はない。」これは本当ですね。相手の命、安全と幸せを自分のよりも先にすることよりもっと大きな愛を持てません。こういう己を忘れる愛を受ける者はそれ以上感動できないと思います。それでは、神様は私たちに對して、どう思っていますか？また聖書によると、こう書かれています。「唯一神は自分の唯一もうつけられた息子を与えるほどこの世を愛した。それはだれでも彼を信じる者がひとりも亡びないで、永遠のいのちをもつためである。」

人がフレゼントを通して愛を示しても、受け取る人がその愛を断りたいという理由でフレゼントを受け取らないこともありえますね。神の息子イエスキリストは、大体2000年前に、この世に来られました。33年もこの世に住み、罪の全くない、清い人生を生きながら、多くの人たちの病気を癒したり、父なる神の愛について人に教えたりました。けれども、多くの人はイエスキリストのこころを受け入れませんでした。しかし、世の罪が神に許されるため、イエスキリストは自分をささげようとして十字架で死んでしまいました。人々皆の罪をすべて自分に背負って、人の代わりに罪の罰(死)を十字架で苦しみながら受けられました。けれども、イエスキリストは神であつたので、墓に葬られた3日後、死からよみがえり、死に勝ちました。今でもイエスキリストは生きています！神の御座の右に着座して、人のために取りなしてくださっています。イエスは皆の罪の罰を支払ったので、代わりに人に許しと永遠の命を与えることができます。この次の箇所の通りです、「それは、罪が死によって支払されたように、恵みが、私たちの主イエス・キリストにより、義の賜物によって支配し、永遠のいのちを得させるためなのです。」この許しと永遠の命は私たちに与えたいフレゼントです。

(イエスは神である)と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったことを信じるなら、あなたは救われる」。「人はここで信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」これをする、と、神の息子イエスを自分の救い主として受け入れ、永遠のいのちを得ることが必ず出来ます。聖書が約束してあるように、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたは救われます。」

あなたも、イエスキリストのプレゼントを受け取りませんか？